

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2023年2月号(第167号)

発行責任者 中原 幹男

春はあけぼの・・・

春の息吹に誘われて・・・ おとぎの国を見ました。
素晴らしい刺繍の世界をご覧ください。



7人の小人たち



刺繍制作：小柳 幸規子氏

★ バードサンクチュアリ ★

上記刺繍の詳細はこちら QR
コードにてご覧ください。



ご入会を歓迎します！

会長 中原 幹男

昨年10月25日、市民大学28期の修了式後にところざわ倶楽部への勧誘会を行い、28期修了生12名と、26期修了企画委員5名が入会されました。その後、28期生が4名入会され、3年ぶりに20名を超える新入会者を迎えることができました。26期と27期の修了生向けには、コロナのため勧誘会を行えませんでした。

ところざわ倶楽部は、個人として倶楽部に入会し年間行事に参加できるほか、同時に倶楽部を構成するサークルに所属することができます。いくつものサークルに加入できることが特長で、みなさん、多様な活動を仲間と楽しみ、市民大学での学びを地域に生かし、ネットワークをどんどん広げ、豊かな社会づくりの一翼を担っています。

どうぞ積極的に参加して、末永く仲間との活動を楽しんでください。





落ち葉堆肥農法が世界農業遺産へ

所沢の自然と農業 稲村 洋二

快晴の1月21日、今年も三芳町の伊東農園の雑木林（通称“やま”）で落ち葉掃きを行いました。伊東家はこの地域で360年農業を営んで来た専業農家であり屋号を江戸屋弘東園と言い、今はお茶とさつまいも農家として江戸の循環農業を継続・維持して来られています。

伊東家の雑木林は伊東家から約1Km離れたところにあり、雑木林と伊東家の間にさつまいも畑があり、柳沢吉保の開墾当時のいわゆる“短冊形”の区割りとなっています。



落ち葉掃きの当日は埼玉森林サポーターズのグループ、秩父学園グループ、山田ファームグループ、市民大学ファームグループ、トコトコ農園グループ、所沢の自然と農業グループ、数名の個人参加者の総勢93名を、伊東家の横で回収した落ち葉を苗床に踏み込むグループと堆肥化するための集積作業グループ、また雑木林での落ち葉掃きは3つの地域に分けグループを担当分けて落ち葉掃きを開始しました。

雑木林で回収した落ち葉は籠に入れ軽トラック数台で苗床と集積場所に運びます。この作業はサポーターズのメンバーに担当してもらいました。

雑木林で回収した落ち葉は籠に入れ軽トラック数台で苗床と集積場所に運びます。この作業はサポーターズのメンバーに担当してもらいました。

去年はコロナの関係で参加者がそれほど多くはありませんでしたが、今年は昨年より20名ほど多い参加者となりました。森林サポーターズのメンバー及びトコトコ農園のメンバーが比較的若い人が多くまた人数も増えて大きな戦力の増強となりました。



前列真ん中の青い作業着の方が伊東さん

した。我々のグループ“所沢の自然と農業サークル”は年齢層が高くこれまで担当してきた苗床の踏み込みを辞退する人が何人かいて、その分をトコトコ農園の若手3人がカバーしてくれました。また、堆肥用として集積場所での作業も去年は秩父学園グループにお願いしましたが、今年は森林サポーターズグループの若手にお願いし快く引き受けてもらいました。それぞれの作業はスムーズに進み予定の11:30には終了し、落ち葉掃きが終わった雑木林は生き返ったように美しく冬の光を地面いっぱいを受け止めていました。

作業開始前の伊東さんの挨拶のなかで2017年に“武蔵野の落ち葉堆肥農法”として認定された日本農業遺産が間もなく世界農業遺産に認定されるとの説明がありました。その場にいた全員が思わず拍手喝采で喜びを分かち合いました。

伊東さんは伊東家の13代目の当主ですが「農業は百年一日のごとし」という親父の言葉を守って実践しているだけだ」と語っています。

近年のDNA解析技術の発展によって見えてきた作物と土壌の関係はダイナミックに変化してきて今また脚光をあびています。落ち葉堆肥のような有機物と多様な土壌動物・土壌微生物と植物の根の相互作用が作物を健全に育てるという仕組みが明らかにされつつあります。

環境保全と農業生産が合理的にむすびついて、これは化学肥料や農薬だけではつくり出せないものです。機械や施設が農業をしてくれるわけではなく、やはり自然と自然に生かされている人間との関係で成り立つものと思います。人がかかわるから効率性だけでなく、人を感動させる四季折々の平地林の美しさ、循環の妙、農家の工夫、それを支える市民のネットワークが必要であると思います。

伊東さんは“この地を朝霞のようにしてはならない”という思いで農業を続けてきたとも語っています。それは朝霞の都市開発が雑木林を切り開き、急速に都市化していった経過をよく見てこられたからです。

我々が落ち葉掃きを通して、実感として武蔵野の雑木林の保全の意義を感じるイベントです。



リアルコロナ

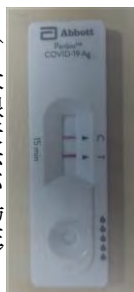
軽症感染者の療養体験記

玉上 佳彦

基礎疾患の全くない私が「まさかコロナ感染とは！」とびっくりしました。毎日体内をアルコール消毒？しているので、絶対に大丈夫だろうと甘く考えていました。発熱などの症状がない軽症のコロナ感染でしたが、私が体験したことを以下にまとめてみましたので、参考にいただきたいと思います。

感染確認の経緯

(2本線表示が陽性)



1月の第1週頃になんとか喉に違和感を感じたので、けやき台の「木下グループコロナ検査センター」にて、無料の「抗原定性検査」を受診した結果「陽性」と判定。念のため、自宅で保管していた Abbott 社の抗原検査キットにて自主検査した結果も「陽性」となり、近所のかかりつけ医に連絡し、唾液による

PCR 検査を実施。翌日「陽性」が確認され、狭山保健所から電話連絡あり、症状を確認されました。後期高齢者のため心配されましたが、発熱などがなかったため、療養の必要なしと判断され、スマホに My-HER-SYS というアプリをインストールして、毎日数項目の入力を指示されました。

My-HER-SYS

その後、所沢市健康推進部保健医療課が、上記アプリの入力値を確認しているようで、1週間後に確認した結果「療養解除」と確認できました。参考までに My-HER-SYS の入力項目は、以下の諸点でした。〔体温、酸素飽和度、表情・顔色、咳・鼻水、息苦しさ、全身倦怠感、吐気・嘔吐、下痢、意識障害、食事困難、排尿〕

私の症状

保健所からの陽性の連絡後の私の行動は以下の通りでした。

- ・濃厚接触者の妻（病院の看護師）との接触を避けるため室内でマスク着用し、食事は2階の居室（PC、テレビあり）、寝室、トイレは別々にして、風呂は、妻が就寝後に入浴、湯は排出していました。2階の居室では、登山用の寝袋で就寝し、かつてのキャンプ生活を思い出して、半ば楽しみでもありました。
- ・実際に、発熱は全くなく、血中酸素濃度も正常でした。唯一症状として残っているのは喉の違和感が残っているような気がしています。但し、ややハスキーな声は少し色っぽいのではないかと勝手に思っています（笑）。

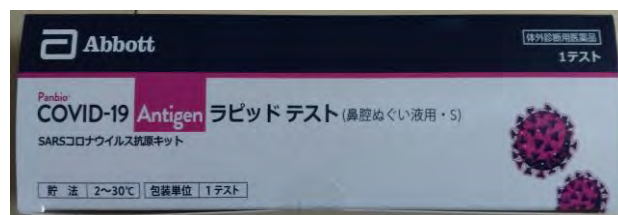
感染者の実態

私がこの間に感じた問題点は以下です。

- ・医療機関から保健所に発生届が提出される対象者は、〔65 歳以上、入院を要すると医師が判断、重症化リスクがあると医師が判断、妊娠している人〕で、それ以外の感染者は、保健所への登録は不要でした。ということは、65 歳未満で症状が軽い人に関しては、監視対象外なので隠れ感染者がかなりいるのではないかと思います。
- ・従って、実際の感染者は、「所沢市の感染者数の報告値」よりはかなり多いということでしょう。
- ・療養解除の目安が曖昧でした。基本的に「陽性」確認後7日間で療養解除となっていますが、最終的に再検査は不要で、なんとなく納得できませんでした。私は念のため、約2週間自主的に自宅療養していました。

高齢者が注意すべきこと

- ・基礎疾患のある方は、重症化の恐れがあるので、違和感を感じた際は、PCR か抗原検査をすることをお勧めします。検査センターに行かなくても、ドラッグストアで抗原検査キットを購入し、自主検査ができます。私がスギ薬局で購入した米国 Abbott 社の抗原検査キットは、1,200 円でした。（写真参照）



- ・初期段階では、まずかかりつけ医に相談することがいいでしょう。私は、ほとんど病気をすることがないので、かかりつけ医はいなかったのですが、毎年の高齢者検診のクリニックの医師が相談にのってくれました。
- ・本年5月8日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の分類で2類から5類に移行されるようですが、症状を軽く済ませるためにもワクチン接種は必須だと思います。
- ・但し、飲酒によるアルコール消毒は役に立たないようです。
- ・最終的には、集団免疫を獲得するまでの戦いが継続していくことになるのですが、新たな変異株が出現しないことを願いたいところです。

環境問題シリーズ 第26章 その1

COP27のポイント！！

LESS Activity on
UNFCCC COP27
Sharm El Sheikh, Egypt 2022

地球環境に学ぶサークル 大江 宏

COP27（国連の気候変動枠組条約第27回締約国会議）は、2022年11月6日から20日まで、エジプトで開催されました。この会議のポイントを記します。（COPとCOP26については、『広場』2022年3月号の拙稿参照）

1. COP27での議論

2021年のCOP26（英国）では、パリ協定（COP21）の2度未満目標（世界の平均気温上昇を産業革命以前比で2度未満に、できれば1.5度に抑える努力）を強化して、1.5度に抑えること（1.5度目標）に合意しました。そのためには、2050年頃には世界全体の温室効果ガスの排出量の実質ゼロ化、さらに先進国・途上国の別なく、2030年に向けて野心的な排出量削減対策を講じることが決まりました。なぜなら各国の削減目標を積み上げて1.5度目標との乖離が大きく、目標達成できないことが明白でしたので、COP27で2030年までの削減目標の強化や実施計画の詳細の決定が期待されました。

しかし、会議の冒頭で、昨夏の大洪水で国土の1/3が水没したパキスタン代表が「この会議で、温暖化が引き起こした損失や損害に対して資金援助組織の設立を」と訴え、議長国エジプトは「損失と損害」に対する資金支援を正式議題とし、この議論が今COPの焦点となりました。

2. 気候変動対策の3つの柱：「緩和」、「適応」、「損失と損害」

「パリ協定」は、気候変動対策の「実施指針」で3つの柱、緩和、適応、「損失と損害」などを定めています。

- ①緩和：温室効果ガス（以下CO₂で表示）の排出削減と吸収の対策、例えば、再エネ化や森林整備など。
- ②適応：緩和策で避けられない悪影響を予測し備える対策、例えば、生態系保護や自然災害対策など。
- ③損失と損害：大洪水や大旱魃のように「適応」さえできない影響への対策で、例えば、気候変動で甚大な損害を被っている被災地の支援や救済など。

実は、1991年、海面上昇で国の存続が危ぶまれた小島嶼国が救済を求め、「損失と損害」の概念を提起しています。しかし、損失と損害は、多くのCO₂を排出してきた先進国の「責任と賠償」論になり、議論は進みませんでした。被災への援助や救済と、被災の加害者責任を認めて賠償するのでは意味合いが大きく異なります。損失と損害の議論は先進国の人々に大きな意識改革を求めています。

3. COP27の成果と課題

例えば、CO₂累積排出量0.3%のパキスタン（米国24.5%、日本3.8%など）が気候変動の甚大な被害に会う不公平さに、紆余曲折を経て、次第に基金創設気運が高まり、COP27の議論で「損失と損害」基金創設が合意されました。これはCOP27の最大の成果です。



しかし、誰が、誰に、いつまでに、いくら払うのかなどの中身は未定で、COP28以降の課題です。その他、COP26で合意された「1.5度目標」の維持、再エネへの公正な移行促進、2050年迄の実質排出ゼロの達成（30年までに約4兆ドル/年の再エネ投資が必要）の要請などが合意されました。

政府間の議論の外に、多くの非国家アクター（企業、金融機関、自治体、NGO、その他主体）の発表があり、中でもグテーレス国連事務総長主導の「ネットゼロの定義」（提言書）は注目されています。企業などの「2050 ネットゼロ（実質ゼロ）宣言」が多数出されていますが、その内容や信頼性が問われています。提言書はネットゼロ宣言に誠実性、透明性、説明責任を求め、問題視されている「グリーンウォッシュ」（見せかけの環境対策）の排除が狙いです。

ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー危機下の影響もあり、踏み込んだCO₂削減対策は合意に至りませんでした。再エネへの移行促進こそが最善のエネルギーの安全保障であると思います。

参考：「エネ危機下のCOP27」朝日新聞 22/12/05、
小西雅子／温暖化による「損失と損害」基金創設へ（世界）2023年1月号

環境問題シリーズ 第26章

その2

国連サミット COP15「生物多様性条約」を知っていますか？

地球環境に学ぶサークル 小田原 一博

2022年12月、カナダ・モントリオールでCOP15(第15回生物多様性条約締約国会議)が開催されました。この会議では、2030年までに「地球上陸域、海洋・沿岸域、内陸水域の30%を保護する」という画期的な合意をしました。この合意は世界中の人々が「私たちの地球を守り」、「生物多様性の喪失を止め」、「陸地や海洋を保護・回復する」というものです。

1. COP15 生物多様性条約とは

- ① 生物多様性条約は、1992年開催の国連環境開発会議で気候変動枠組条約(UNFCCC)と共に発足し、190カ国以上が批准しました。



2. 生物多様性とは、その現状は

- ① 地球上の動植物の豊かな種類(バラエティ)を意味します。生物多様性は世界中で低下し、もはや無視できない状況に達しています。
- ② 世界自然保護基金(WWF)報告2022では、1970~2018年の間に脊椎動物の個体数が平均69%減少したと指摘されています。
- ③ 生物多様性に関する政府間科学政策プラットフォーム(IPBES)報告2019によると、動植物の25%が絶滅危機に晒され、約100万種は既に絶滅寸前ということです。
- ④ これは深刻な状況で一部科学者らは地球史上第6回目の絶滅期が迫っていると警告しています。(第1回絶滅4.4億年前、2回3.7億、3回2.5億、4回1.9億、4回0.6億)

3. 生物多様性はなぜ重要か

- ① 動植物、微生物等からなる地球の生態系は、数億年を経て生命のバランスを保っています。全て直接・間接に繋がりが合い、壮大な生命の環を形成しているため、一度バランスが壊れると大量絶滅も起こりうる状態です。
- ② 例えば遺伝子が同じ農作物を連作すると、特定の病気や気候変化で全滅しやすくなります。

それぞれ異なる遺伝子を持てば、個体毎に耐性が異なり全滅を防ぐことができます。このように、環境変化に対して生物は多様性により生存率は高まり、絶滅危機を避けられます。

4. 生物多様性の低下と地球温暖化の関係

- ① いずれも人類(我々)の急増と経済・開発活動が原因です。温暖化や気候変動だけではなく、生物多様性にも悪影響を及ぼしています。
- ② 生物多様性の低下は、過度な開発、自然破壊、化学物質による環境汚染、海洋プラ汚染、農薬や肥料、動植物の乱獲等が主因です。
- ③ 地球温暖化と生物多様性の喪失という、二つの課題は並行して取り組む必要があります。例えば大規模な森林再生も、単一樹種の植林でCO2排出抑制できても生態系バランスを崩して生物多様性を欠きます。

5. COP15の結果

COP15は2030年までの達成を目指す新たな国際ルールを採択しました。



グテーレス国連事務総長は、今回合意は「私たちがようやく自然との和平協定の締結に着手した」ことを示すと語り、すべての国に約束を果たすよう求めました。

サークル活動報告

「グループ学習 1 年目の成果」

傍聴席 石堂 智士

早いもので、私が代表になって 8 年目を迎えます。まだまだ、見習いだと思っておりましたが、10 年目が近づき、そろそろ引退を考える時期になりました。そんな状況ですが、最近、市民大学広瀬先生の 2 年次グループワークを経験して、傍聴席へ入会する方が増えて、嬉しい困惑を感じています。



さて、傍聴席の活動は、前回お伝えしたように、多様な会員のテーマニーズを満たすため、小集団のグループ学習を

取り入れました。昨年発足したグループは、「地球環境」、「地方公共交通政策・高齢者問題」、「その他・市議会」の 3 つのグループです。グループ学習の 1 年目がどうだったのか、その成果・実績を報告します。

「地球環境」A グループは、栗田リーダー中心に 3 名と少数ですが、ご存じのとおり、有名な活動家が揃っています。全員学習というより、所沢環境市民の会を発足し、日本目標の 2030 年 CO₂ 46% 削減に向けて、エネルギー転換必要性の啓蒙と市民への普及を図っています。

「地方公共交通政策」B グループは、村瀬リーダー中心に新旧こもごものメンバー 5 名です。バランスの取れたチームで、横浜市の関東運輸局まで出かけ、国の出前講座「地域公共交通政策」を 7 月に開催し、9 月に質問回答集をレビューし、12 月には市の出前講座「所沢市地域公共交通計画(素案)」をパブコメ協力のため実行しました。この 1 年間の B グループの成果は予想を超えるもので、今後の活躍が楽しみです。

「市議会」C グループは、石堂リーダー中心に他グループ兼任を含む残り 6 名です。数年前の入会時より、市議会傍聴を経験したいとの希望がありましたが、私の時間が取れず、昨年は政策討論会等へ一度参加した程度です。その代わり、議会基本条例、「市議会のイロハ」、「市民から見た所沢市の財政」などを数回にわたり学習しました。今年は市議会傍聴に挑戦します。

温暖化を止めよう！！

地球環境に学ぶサークル 中島 峯生

国連環境計画 (UNEP) は、南極上空のオゾン層が 2066 年頃までに、1980 年のレベルに回復するとの予測を発表した。地球全体を覆うオゾン層は、太陽からの有害な紫外線を遮断している。80 年代に極端に薄くなったオゾンホールが南極で観測され、各国は「モントリオール議定書」に基づき、フロンなどの生産と消費を禁止した。その効果が出てきたのである。ペッテリ・ターラス世界気象機関事務局長は、「オゾン対策は気候変動対策の先行例だ」と指摘した。ウクライナ戦争問題等のマイナス要因はあるが、温暖化は人類共通の問題として捉えられている。

われら地球環境に学ぶサークルは、可能なかぎり幅広く温暖化の情報収集をし、発信を継続している。特に、2020 年から続く広場の「環境問題シリーズ」は、今も継続掲載中である。①「第 6 次エネルギー基本計画案」へのパブコメ、②世界農業遺産をめざす「武蔵野の落葉堆肥農法」支援、③おさらい「COP26」のポイント、④身の回りのできる環境に優しい省エネの徹底について、⑤「もし、所沢市の農地全域にソーラーシェアリングを採用したら」、他。中でも「地球環境改善チェック」シートの 2 年連続の収集は、倶楽部の意識付になったと考えている。屋外では、カルチャーパーク・東部クリーンセンター、及び柳瀬荘黄林閣屋敷林保全活動見学を実施したり、諸問題の深掘りのため「グリーン／ウォッチ」市民版環境白書 2021、2022、「レポート 2030」等の読書会を実施。また市民会議の「所沢環境市民の会」の設立に参加している。



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

2月22日(水)13:00～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ：玉上会員による「ゼロコロナ後の最新中国情勢」
 3月15日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ：未定

2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

2月27日(月)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
 プッチーニ歌劇「外套」,「修道女アンジェリカ」
 「ジャンニ・スキッキ」
 3月14日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
 プッチーニ歌劇「蝶々夫人」

3. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさ子 080-5872-1868)

2月28日(火)9:30(集合)～ 中央公民館調理室
 「パエリアをつくろう」
 3月28日(火) ジビエ料理を食べに

4. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

2月13日(月)10:00～12:00 新所沢東公民館 読書会
 「レポート2030 グリーン・リカバリーと2050カーボン」第3回
 2月21日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館、月例会
 省エネ策討論、討論テーマ検討、他

5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

2月8日(水)13:15～15:00 中央公民館 1階 学習室3号
 3月8日(水)13:15～15:00 中央公民館 1階 学習室3号
 定例会 テーマ「わたしたちの2025年問題」“民主主義を問う”
 〈SP/チアダンス練習日〉 入会募集、見学大歓迎
 2月11日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター101号室
 2月25日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター多目的室

6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

2月9日(木)13:00～15:00 新所沢公民館6号室 定例会
 2月18日(土)9:30～11:30 トトロ21号地落ち葉掃き
 2月21日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 2月24日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 2月25日(土) 山田ファーム総会

7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (栗屋 貴夫 090-2746-9840)

2月16日(木)13:30～14:45 中央公民館
 「市民大学28期グループワーク発表会」
 「所沢の綿織物繁盛記(江戸後期～明治中期)」
 3月2日(木)13:15～14:45 生涯学習推進センター
 「江戸時代 所沢の医療に尽くした人々」
 講師 木村立彦氏

8. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

2月11日(土)10:00～12:00 中央公民館3号
 「ヴェニス商人」朗読続き
 2月18日(土)10:00～12:00 中央公民館3号
 「ヴェニス商人」朗読続き

9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

2月14日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 邦画「お茶漬の味」(52年)佐分利信・木暮実千代
 2月28日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 洋画「未知への飛行」(64年)核装備の脅威
 冷戦時代のソ連とアメリカ 核のボタン一つ恐怖

10. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

2月27日(月)13:30～ 子どもと福祉の未来館・多目的室4号
 内容：鶴野沢実豊氏による「脳」についての関連講座、
 テーマ「閃く脳と騙される脳」
 3月27日(月) 航空公園を起点とする屋外活動を計画、
 雨天は中止。企画の詳細が決まり次第、会員にご連絡。

11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

2月20日(月) 新所沢東公民館 研修室1号
 テーマ：「今期計画づくり・自由討議」(1月から継続)
 各Gリーダーの今期計画発表を受けて、会員の自由討議
 3月20日(月) 3月テーマは2月例会で決定

12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

2月17日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
 多目的室4号(3階) 定例会
 ＊所沢の民話「車返しの弥陀」を、さらに話を膨らませて会話入りの物語に挑戦します。たたき台を基に、みんなで意見を出し合いながら創り上げます。
 3月17日(金) こどもと福祉の未来館 定例会

理事会報告

◆1月16日(月)第2回理事会が開催されました。
 年頭に当たり、コロナ禍からの脱出を見据えて「ところざわ倶楽部の持続可能な会員維持に向けた具体策」について討議されました。そこでは、2016年に実施された「ところざわ倶楽部あり方検討会」で示された、以下の四つの観点から、改めて各サークルからの意見を基に、数回に亘る理事会議題の一つとしました。

◆四つの観点とは

①運営上、現在かかえている問題がありますか。
 ②運営上、将来問題となると考えられるような点がありますか。
 ③運営がうまくいっていると思われる点はどのような点ですか。
 ④会員増強策はなにかお持ちですか。の四つです。
 会員の皆様も、広報誌「広場」などへご意見をお寄せ下さい。
 第3回理事会：2月13日(月)10:00～12:00 新所沢東公民館

みんなの広場 第44回

傍聴席 芝間 伸剛

みんなの広場 第44回

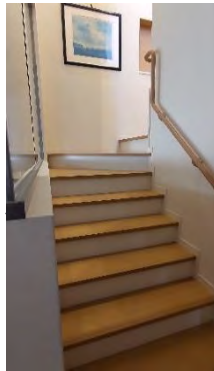
私のこだわり

皆さんもいろいろのことに「こだわり」を持っているのではありませんか。私にも「こだわり」があります。その「こだわり」の一つが「階段」です。

数年前に家を建て替えましたが、その時に階段をどのように作るか、ここに「こだわり」があります。以前に住んでいた家の階段は、ごく一般的な階段でした。

一般的な階段とは、階段の内々の幅は 75cm 程度、階段の 1 段の高さ（蹴上）は、22～23cm となっています。この場合、手摺をつけるとさらに狭くなり、長尺ものや大きなものの上げ下ろしが大変です。また、妻が膝と腰を痛めており、階段の上り下りが大変でした。そこで以下のような階段にすることにしました。

項目	以前の家	今の家
階段の内々幅	75cm	100cm
蹴上寸法	21.5cm	18cm



蹴上寸法の違いは、ほんの少しですが、日々の階段の上り下りがとっても楽になりました。階段の段数は増えたものの、階段の途中ですれ違いも簡単にできますし、大きな荷物の上げ下ろしも壁や手すりを気にすることなく簡単にできます。

今後年齢を重ねていっても、まだまだ階段を利用した生活ができるのではないかと思います、この「こだわり」に満足しています。

アルバムの昔に帰り薄笑い
富士山の見え方次第気分よし
もうやめた通信講座身につかず
見るはずそれでも新鮮再放送
元気です今日も三食妻の愛
優しくと毎日心言い聞かせ

昼食べて戦う睡魔五時間目
歳を取り昼寝楽しみ元氣出る
ニャンコとお昼寝タイム日課です
ケイタイが妻の昼寝を邪魔してる
女房の昼寝の時間時代劇
陽だまりの昼寝が癖に定年後

「自由題」

りんご好き 詔 笛
突拍子 人
縄文 人
どうし 海

りんご好き 詔 笛
海さとり 海
どうし 人
突拍子 人
縄文 人

次回（第 82 回）課題「母」そして「自由題」

締切り日：2 月 20 日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161

川柳（八十二） 作品発表選 中島峯生



《編集後記》

正月過ぎて想う文化について

コロナ禍 3 年経て、社会の風情にも微妙な変化を感じる今日この頃です。

子どもの頃の正月遊びであった、かるたとり・こま回し・凧あげ・羽子板等は、既に遠い昔話のように感じていましたが、せめて正月のしめ飾りくらいは近所の家で見ること多かった気がします。ただ、最近はその飾りも増々少なくなり、新たな年の変わり目という社会の風景も、段々と消えつつあるように思います。

正月前のクリスマスにしても、以前は外来の文化として、それなりに日本の社会に定着していましたが、今ではその影も薄くなってきています。

最近、騒々しい「ハロウィン」が、本来の趣旨と違う形でその存在感を増してきています。

デジタル時代で大きく社会が変化する中でも、誇り高い日本独自の良き文化は、しっかり後世に伝えていきたいものです。



(松尾:記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)